

しなののうた

葉を落とし電柱のごと街路樹に甦りくる銀河鉄道



杉田小百合

しなののうた

懐に小さな熊手しのばせてひたすら願う家内安全

杉田小百合



しなののうた

暮れ早き家路を急ぐ闇に浮く南の空に火星瞬く



杉田小百合

しなののうた

すれ違うどの顔もみな恵比須顔夢の膨らむ二の酉の市

杉田小百合



しなののうた

人波に高く漂う大熊手よ不況の風を吹きとばしゆけ



杉田小百合